

人体生理学特論・実習

《キーワード》 全身及び局所麻酔、人工呼吸、血圧測定、体温測定

《担当者名》 教授/石井 久淑

【概要】

生理学は生体反応（生命現象）のメカニズムを学ぶ・探求する学問であり、それらの反応をとらえるためには適切に生体のシステムを管理・維持することが重要である。このため、本科目では動物実験（主にラット）における生体情報モニター管理（麻酔、人工呼吸、血圧及び体温）について理解し、実践できることを目標とする。

【学修目標】

1. 全身麻酔法並びに局所麻酔法について説明・実践することができる。
2. 人工呼吸法について説明・実践することができる。
3. 観血的血圧測定法について説明・実践することができる。
4. 直腸からの体温測定法について説明・実践することができる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	麻酔法	・全身並びに局所麻酔法における使用器具と薬物	石井 久淑
2	人工呼吸法	・人工呼吸法における使用器具、筋弛緩剤及びモニター管理	石井 久淑
3	血圧測定法と体温測定法	・観血的血圧測定法における動脈路の確保の手技、使用器具及びモニター管理 ・直腸からの体温測定法における使用器具及びモニター管理	石井 久淑
4	実験動物の生態情報モニター管理の実際	・全身麻酔下で人工呼吸にて管理されたラットの血圧と体温のモニター管理の実践	石井 久淑

【授業実施形態】

面接授業と遠隔授業の併用

授業実施形態は、各学部（研究科）、学環、学校の授業実施方針による

【評価方法】

出席状況、提出物

【教科書】

授業中に指示する。

【参考書】

授業中に指示する。

【学修の準備】

事前に提示した到達目標に合わせて、関連資料の収集・文献講読をしておくことが望ましい。